

平成28年度採択 リンク機構を有する自動開放システムの確立によるインサート成形用金型の研究開発 法認定中小企業名朝日精密工業株式会社（愛知県） 主たる技術：精密加工

電気自動車等の駆動システムに必要不可欠な大電流配線用バスバーの需要が増加する中で、絶縁被膜成形は、現状2工程を要しコスト高となっている。そのため、バスバーに対し均一な絶縁被膜成形を、自動開放機構を有する金型システムの構築により、1工程で成形することを可能として。

研究開発の成果

■自動開放システムの確立

- ・解析モデルによる均一に樹脂が流れるモデルの確立。
- ・バー材を固定・保持しているブロックが開放される機構の確立。
- ・最適成形条件の確立とゲート形状やゲート位置等の適正化。
- ・樹脂充てん過程や流動バランス等の

■自動開放システムを具備する金型設計・加工技術の確立

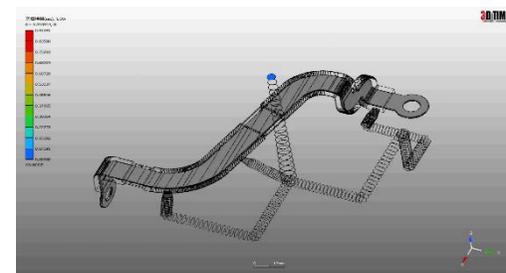
- ・自動開放システムの動作開始時期と樹脂充填状況の対応。
- ・バー材を固定するコマの形状とコマ位置の確立。
- ・バー材の保持力を向上させるためのばね構造の確立。

■バスバー精度（板厚） ± 0.2 mm以内の成形を達成。



バスバーイメージ写真

リンク機構ユニット写真



研究体制

事業管理機関：朝日精密工業株式会社、国立大学法人岐阜大学

法認定中小企業：朝日精密工業株式会社
大学、公設試、協力企業：国立大学法人岐阜大学、名古屋市工業研究所
川下企業等：朝日理化株式会社
：自動関連企業

当該研究開発の連絡窓口

所属・氏名：製造部長 鈴木 茂樹
E-mail：info@seimitsu-asahi.com
電話番号：0563-35-3701